

## 軽太親綱兼用伸縮ロープ交換要領

16. 10. 27 R-857-A

### 1. 交換前点検の実施

※交換前に必ず下記項目の点検を実施願います。

※異常が発見された場合は早急に、部品交換等の対応をお願いします。

1-1: 支柱及び踏ざんに変形、破損が無いか確認。

1-2: はしごの伸縮操作がスムーズであるか確認。

1-3: 安全器がスムーズに作動するか確認。

1-4: グリップの破損が無いか確認。

1-5: その他各部の破損が無いか確認。

### 2. 必要工具

・M8スパナ(六角対辺13mm)・・・1ヶ

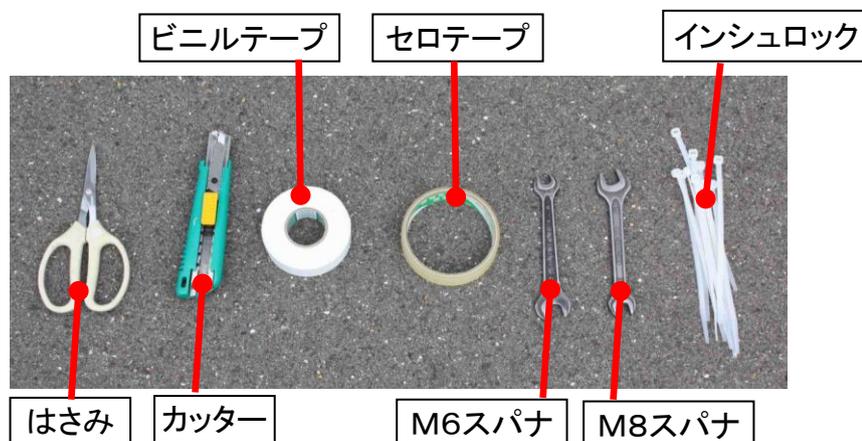
・M6スパナ(六角対辺10mm)・・・1ヶ

・カッター(はさみ)・・・1ヶ

・ビニルテープ・・・1ヶ

・セロテープ・・・1ヶ

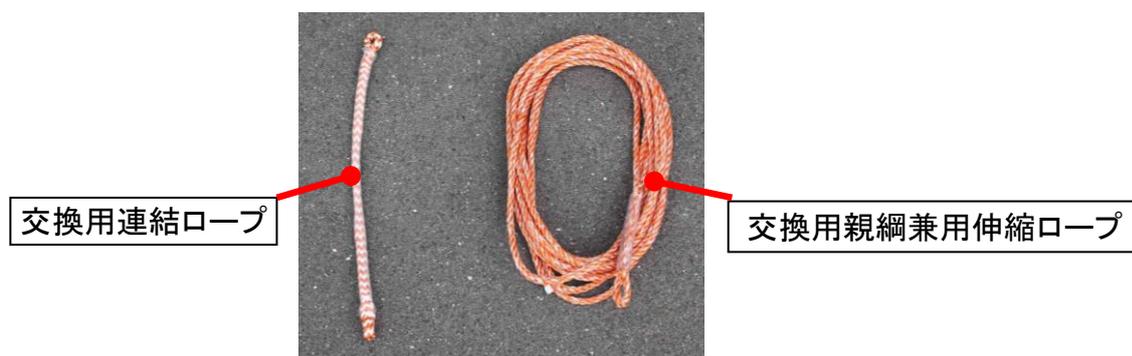
・結束バンド(インシュロック)・・・1ヶ ←「クリータイプ」の場合は必要ありません。



### 3. 必要部品

・交換用操作ロープ(各サイズで長さが異なります)・・・1ヶ

・交換用連結ロープ(V字仕様, 一文字仕様で長さが異なります)・・・1ヶ



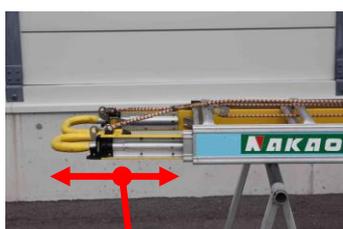
## 4. 交換手順

4-1: はしごを支脚の上に、取手部を上にした状態で水平に置きます。

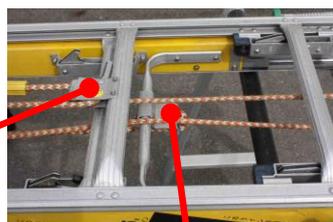


4-2: ロック金物を解除し、上はしごを写真の位置まで引出します。

※最後にロープの末端処理を行ないますので、必ず写真の位置まで引出してください。



約1段分



ロック金物

端末金

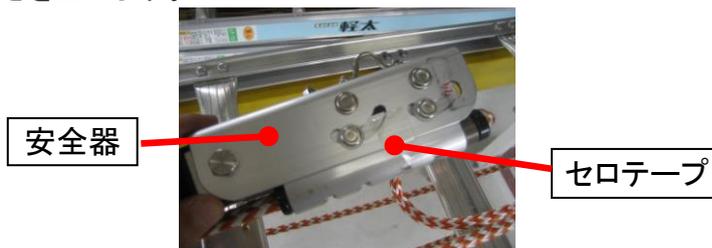
4-3: 安全器を何度かスライドさせ、ロックがかかっていないことを確認します。



安全器

スライド方向

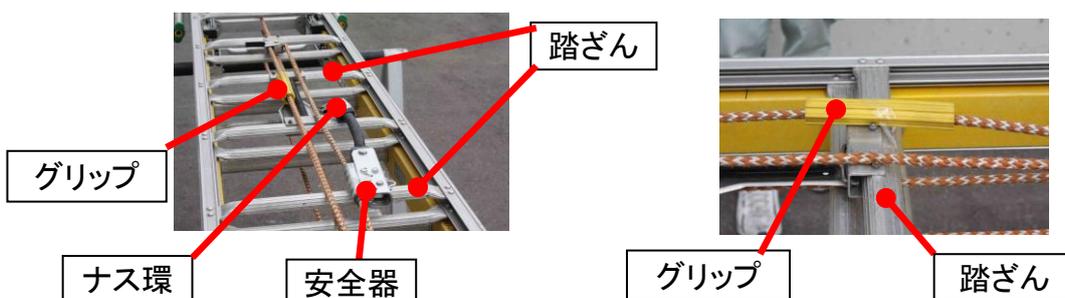
4-4: 4-3の状態から、安全器をロックさせない状態(フリーの状態)で、セロテープを用いて動きを止めます。



安全器

セロテープ

4-5: 安全器とナス環(又はロックピン), 操作グリップをセロテープで踏ざんに仮固定します。



グリップ

踏ざん

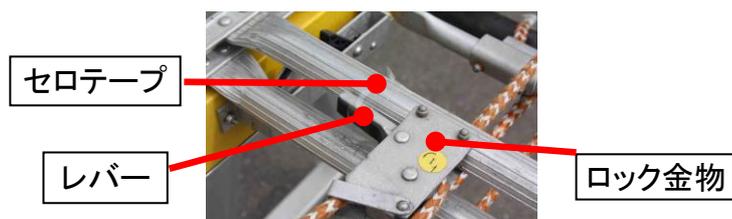
ナス環

安全器

グリップ

踏ざん

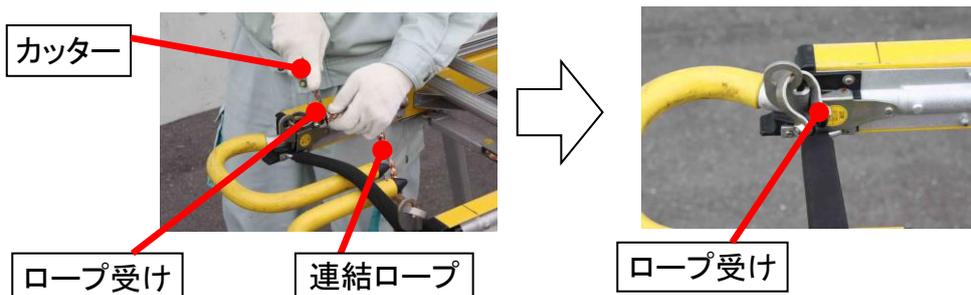
4-6: ロック金物のレバーをセロテープで仮止めします。



4-7: カッターで親綱兼用伸縮ロープを切断します。  
※ロープが膨らんでいない箇所を切断します。



4-8: カッターで連結ロープの先端2ヶ所を切断します。  
※ロープ受け付近を切断して下さい。  
※連結ロープには「V字仕様」「一文字仕様」の2種類ありますが、交換手順は同じです。

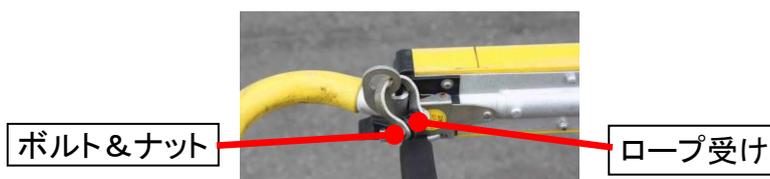


V字仕様



一文字仕様

4-9: 連結ロープ取付部のボルト&ナットを、M8スパナ&M6スパナを用いて外します。  
※この際取外したロープ受けは使用しますので、紛失しないようにしてください。



4-10: 4-9で取外したロープ受けを新規連結ロープの両端に取付けます。



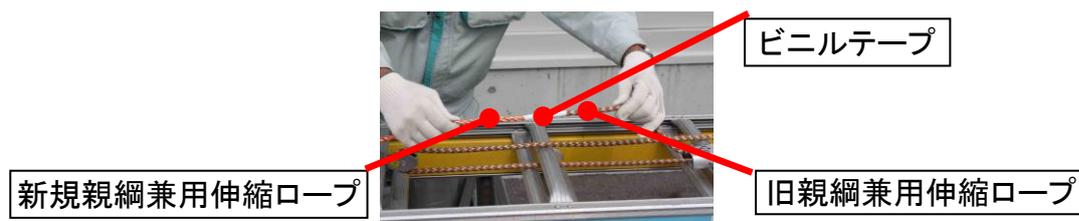
4-11: 新規親綱兼用伸縮ロープのロープアイを、新規の連結ロープに通します。



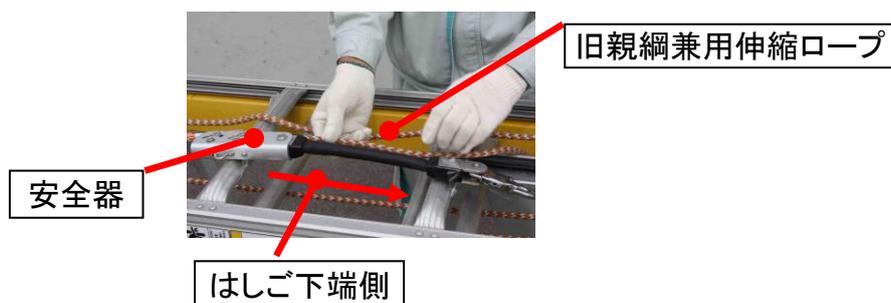
4-12: 4-9で取外したボルト、ナットを用いて、新規連結ロープの末端を固定します。  
※締め忘れに注意してください。



4-13: 4-7で切断した親綱兼用伸縮ロープの末端と新規の親綱兼用伸縮ロープの末端をビニルテープで連結します。  
※ロープどうしが重複しないように注意してください。



4-14: 旧親綱兼用伸縮ロープをはしご下端側に引張り、安全器に新しいロープを通します。



4-15: 同様に下はしご下部滑車に新規ロープを通します。

※ロープを連結しているビニールテープがはがれない様、ゆっくり丁寧に通してください。

※滑車を指で回転させながら通すと、ビニールテープがはがれにくいです。

※ロープの通し方向については、滑車に付いている「通し方向ラベル」を参照願います。



下はしご下部滑車

4-16: 同様に、グリップに新規ロープを通します。



グリップ

4-17: 同様に、残る滑車に新規ロープを通します。



下はしご上部滑車



中はしご下部滑車



中はしご上部滑車

4-18: ロープ端末のインシュロックを外し、ロープ端末金の結び目をほどき、ロープを引張り出します。

※旧タイプの端末金の場合は、下の写真の状態にして、古いロープを矢印の方向に引張り出してください。



※新タイプ及びクリートタイプの端末金の場合は、下の写真の状態にして、古いロープを矢印の方向に引張り出してください。



新タイプ



クリートタイプ

4-19: 親網兼用伸縮ロープを連結した箇所を切断します。



4-20: 親網兼用伸縮ロープの端末処理を行いません。

※この段階では、ロープは仮固定となります。(クリートタイプは除く)

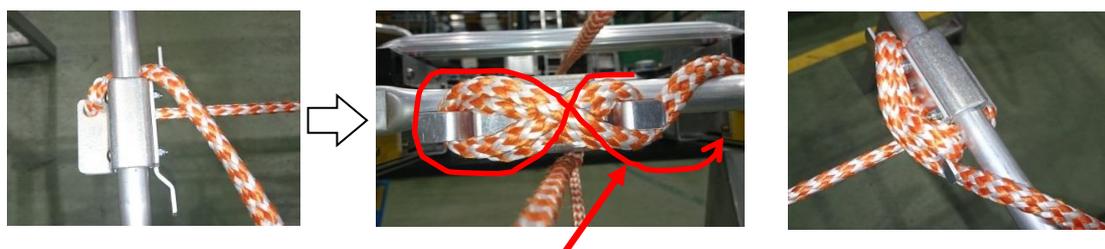
※旧タイプの端末金の場合は、下の写真の状態にして、端末処理を行なってください。



※新タイプの端末金の場合は、下の写真の状態にして、端末処理を行なってください。



※クリートタイプの端末金の場合は、下の写真の状態にして、端末処理を行なってください。



クリートに8の字状に数回巻き付けてください

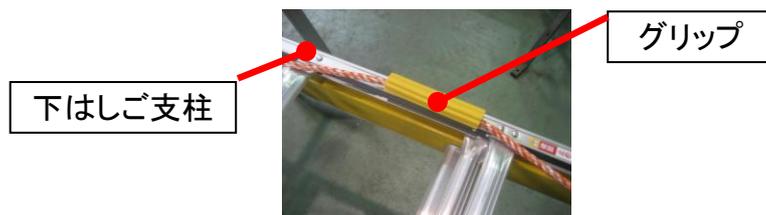
更に余ったロープは8の字状ロープに差込み



ロープ端末をクリートとロープの間に差込み

4-21: 親綱兼用伸縮ロープの張り具合を調整します。

※はしご縮長時にグリップが下はしご支柱にギリギリ乗る程度の張り具合としてください。ゆるすぎると、滑車からロープが外れる場合があります。



4-22: グリップを4-21の位置にセットした状態で、親綱兼用伸縮ロープの張り具合を調整します。

※4-20記載の端末金もしくはクリートに、親綱兼用伸縮ロープを再度締めなおします。

4-23: はしごを起し、はしごの伸縮動作及び、安全器の作動の確認を行なってください。

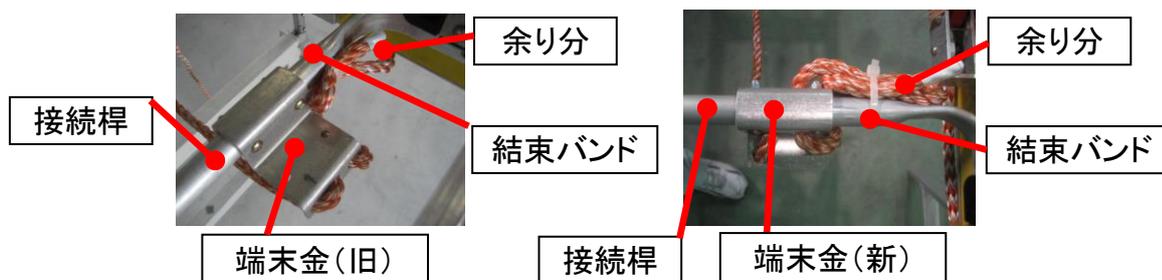
※伸縮動作及び安全器の作動に異常無いか確認してください。

※安全器の作動に異常があった場合、速やかに使用を中止し、ご連絡願います。

4-24: 余ったロープを結束バンド(インシュロック)を用いて接続桿に結束します。

※端末金には2種類あります。結束方法につきましては、下図を参照願います。

※クリートタイプについてはインシュロックは必要ありません。



以上で終了です